

「考⑤ ～修学旅行記・金閣寺・二日目ホテル～」

校長 江口 満



【上】6月5日(月)修学旅行二日目。集合写真で学年の団結力を示した金閣寺。自信のオススメスポットが見つかったらうか。

【前号からの続き】「校長先生、どの辺にいらっしゃるのですか。竹林の小径に行った生徒たちが、校長先生に会えなかったと帰ってきています。」とH先生の声。「メイン通りから左に曲がって行くと神社があります。そこをさらに左折して200メートル奥の絶景スポットです!」と返答する。「できるだけ引き帰らせて校長先生の所に向かわせます。」とH先生。ガチャ。

メイン通りのチェックポイントに立たれたH先生は、嵐山散策の後半の時間帯に、学校への買い物をする予定だという話をされていたはず。今から生徒たちに竹林へ誘導をされるということは、彼女自身の自由時間が消滅か…。「すみません…」と心の中で念じ、手を合わせる。

昨年の修学旅行でもここまで到達した班は数班しかなかった。今年もダメか。あの張り切っていた男子の班すらも来ていない。人が幾分途切れたかなと思ったちょうどその時だった。生徒の姿が、垣間見れたのである。「来た!」私は、全力で手を振った。生徒たちとの再会が、こんなにも待ちどおしく感動的であったとは。胸が高鳴り感動する私に反比例して、生徒たちは暑さと人混みに揉まれたためか少々疲れ気味。神秘的な竹林をバックに記念写真。カメラを

向けると、さすが則中の生徒である。満面の笑顔を取り戻す。

その後、続々と生徒たちの班が竹林の小径に到着。H先生がメイン通りでかなりはっぱをかけてくださったお陰だ。そう思っていると、H先生本人が登場。嬉しさのあまり、竹林をバックにH先生一人を撮影。その写真をA3パネルに拡大して学校に掲示しようかと考えていたら、H先生の目圧で怒られた。H先生パワーで15班が竹林の小径まで到達。11月の2年生修学旅行でも、ここ「竹林の小径」にカメラを持って立たせてもらえるだろうか。

私たちは嵐山を後にして、太宰府天満宮と同じ菅原道真をまつる「北野天満宮」と、世界文化遺産の一つである金閣寺の名称で広く知られる「鹿苑寺」に向かった。私が「竹林の小径」にこだわるように、生徒自身のおすすめスポットを求めて…。【次号に続く】

「最大限の感謝の気持ちをもって」 3年1組 Sさん

僕達の修学旅行は、バスに乗ることから始まった。わくわくした気持ちで、前日あまり眠れず若干の眠気をもってバスに乗り込んだが、その眠気もすぐに吹き飛ぶことになった。待望のカラオケが始まったからだ。カラオケはM先生のソロから始まりK先生へと思いきや、思いもよらぬマイクのトラブルで出来なくなってしまった。しかし、友達とおしゃべりでとても楽しい時間を過ごすことが出来た。新幹線では無限にカードゲームをして過ごした。(中略)

二日目、楽しみにしていた嵐山に向かった。そこでまず昼食を食べた後、いよいよ班行動がスタートした。僕達とはにかく色んな店に行き、色んなものを食べた。本当にたくさんの場所に行くことができてよかった。その次の北野天満宮では、一風変わったおみくじがあった。まず細長い箱の中から細い棒を取り出し、その棒に書いてある番号のおみく



じを買うというものだった。僕は吉だったが、友達から情報を集め、何番が大吉なのかを突き止めるという神をも恐れないことをしたり、くぐったら良いことがある輪っかをつくったりした。

お楽しみポイントの一つである金閣寺に行った。金閣寺は写真で見た通りとてもきれいで、その周りの池などからもわびさびを感じた。それが終わると二日目のホテルへ行き、友達と礼儀について語り合ったりゲームをしたりして過ごした。

そして、いよいよ修学旅行最終日が見えた。少しさびしい気持ちもあったが、それもすぐ朝のバイクで忘れることとなった。からすま京都ホテルに一礼し、清水寺へと向かった。清水寺に着き階段の下から見てまず思ったのは、「大きい。」というものだった。そしてその長い階段を登った先には、お楽しみポイントの清水の舞台があった。そこは僕の想像以上に高く、傾きが大きかった。さらに舞台から下を見ている友達を驚かしたり、胎内巡りで本当の真っ暗というものを体験したりしてとても楽しかった。帰り



も人狼をしたり、カラオケをしたりして本当に最後まで楽しかった。こんなに楽しい体験をさせてくれた方々に、最大限の感謝をもって過ごしていきたい。

「趣の味沁みるじゃがいも」 3年3組 Mさん

二泊三日で行った京都・奈良への修学旅行は、「古き良き」が感じられた旅だった。正直、修学旅行の前日までは、「寺など見て回るだけでつまらないものだろう。」と思っていた。だがそんな考えは、180度どころか540度も変わった。そう思った理由が二つある。

まず一つ目は法隆寺。「世界最古の木造建築」と呼ばれる1300年以上前に建てられた五重塔、それを見た時だ。実際に見てみると写真では味わえない迫力を目の当たりにして、つまらないと思うことは一度もなく、それどころか胸がとても踊った。

二つ目は清水寺だ。清水寺は、京都の中でも一位、二位を争うほど観光地で、修学旅行で行けることが分かった時は、とても嬉しかった。だが良い意味で清水寺に裏切



られた。なぜなら清水寺は、私の期待を遥かに上回るほどの感動があったからだ。本堂から見える京都の景色と建築の緻密さは、圧巻であった。

この修学旅行を通して得たことは、三日間、共に行動したことで友達との絆をより深められたこと、古都などの趣を肌で感じ取ることが出来たことだ。私は準備を手伝ってくれて送り出してくれた家族と、この修学旅行を計画してくれた先生方にとっても感謝している。またこの旅行をより良いものにしてくれたJTBの方々やバスガイドさんにもお礼の気持ちを伝えたい。この経験は、大人になっても忘れないし、忘れたくない思い出となった。

【上】修学旅行二日目「からすま京都ホテル」での夕食。ディナーで大満足の生徒の皆さん。
 【左】夕食後、二日目の反省をまとめる実行委員会議【下中】修学旅行初日の部長会議の様子
 【下右】修学旅行二日目の室長会議の様子。

